

医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

福井県済生会病院内科では、臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】 慢性腎臓病者における無自覚低血糖と身体機能・認知機能の関連

【研究期間】 2018年6月1日～2025年3月31日

【研究の目的】 無自覚低血糖が慢性腎臓病者にどの程度存在するかをリアルタイム血糖測定装置によって検出する。同時に認知機能検査・脳血流スキャンおよび生理学的検査による血管病変の評価を行う。両結果を対比させることにより認知機能低下・動脈硬化性疾患に無自覚低血糖がどのように関わっているかについての知見が得られる。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

2018年6月から2021年2月までの間に福井県済生会病院に通院中の週3回の維持透析を受けた慢性腎臓病の方。または正常腎機能で糖尿病の方。

2. 研究に用いる試料・情報

診療の過程で取得された性別・糖尿病歴・透析継続期間・過去2年間の心臓血管合併症および転倒の有無・身長・体重等。また、リアルタイム血糖測定装置（リブレ）による血糖値2週間分、グリコアルブミン値・HbA1c値・アルブミン値・コレステロール値・CRP値。さらに研究終了後も3～6年間程度認知機能・心血管病発症の有無を観察する。

3. 研究の方法

グリコアルブミン値、HbA1c値測定およびリアルタイム血糖測定装置（リブレ）による血糖値変動を観察する。血糖測定は原則として14日間継続し、無自覚低血糖を検出したものについてはその持続時間・程度を7日間の合算値で評価し、認知機能や血管機能との関連を調べる。対象として無自覚低血糖を検出しなかった透析者および非透析者において同様の検索を行う。

【研究責任者】

福井県済生会病院 内科 潮木 保幸

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒918-8503

福井県福井市和田中町舟橋 7-1

福井県済生会病院 内科 潮木 保幸

電話：0776-23-1111（代表）